



広報 たかもり

2
No.402

平成5年2月5日発行
09676-2-1111・FAX2-1174



▲浴槽付き車両

(14ページに関連記事掲載)

人口の動き

(1月1日現在)
世帯数 2,535 (±0)
男 4,014 (-4)
女 4,306 (-1)
総 数 8,320 (-5)

- 一 水と緑と土のにあいい
つぱいの住みよい町に
します。
- 二 伝統を重んじ、文化の
薫る潤いのある町にし
ます。
- 三 老人を大切にし、子供
の夢を育て幸せな町に
します。
- 四 勤労を尊び、産業を振
興し活力ある町にし
ます。
- 五 スポーツに親しみ、心
身をきたえ健全な町に
します。

高森町民憲章

2
No.402

おめでたおくやみ

(1992.12月受付分)

赤ちゃん 誕生日



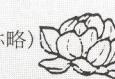
佐藤 秀喜ちゃん	利さん
(芹 口)12・2生	さんの長男
樺本 武藏ちゃん	秋 弘
(高 森)12・17生	さんの2男
楠本 祐子ちゃん	園 子
(高 森)12・18生	信 久美子

すえながく おしあわせに



(岩下 裕二	色見 戸狩	10・16
(大中 真理	本 渡 市	
(住吉 安晴	色見 西 丁	12・14
(緒方 節美	下益城郡・城南町	
(松本 桂治	高森 上町	12・25
(眞崎 ユカ	高森 旭通	

おくやみ もうしあげます



(住所)	(遺族)	(死亡者)	(年齢)
高 森	甲斐けさみ	甲斐 國昭	41
芹 口	後藤 初男	後藤 覚	74
色 津	佐藤 幸人	佐藤 弘國	90
高 芹	甲斐 孝幸	二子石森男	61
高 芹	永松 昌則	永松 啓	79
高 芹	後藤 初男	後藤サエノ	94
高 芹	森 塚野 史子	友岡 ミヤ	83
高 高	荒牧カエコ	荒牧ケサト	93
高 高	加藤 文凡	加藤 正	90

善意の灯

ありがとうございました (敬称略)
■町社会福祉協議会へ
<香典返し> 佐藤幸人、古閑久美男、
後藤初男、加藤文凡、徳丸末美
<一般寄付> 高森町職員組合青年婦人部



熊本県民テレビの本社で行われた贈呈式

入浴専用車の贈呈式が一月二十七日、熊本市の熊本県民テレビ本社で行われ、町社会福祉協議会の中山昭男副会長と森事務局長らが出席、車輌を受けました。これは、24時間テレビ『愛は地球を救う』のチャリティーキャンペーン企画として行われているもので、全国の社会福祉協議会などから申し込みがあった中から、チャリティ委員会やテレビ局で緊急度や必要性・利用人数、運用態勢を調査してリストアップし、その中から特に緊急を要するものに贈呈されているものです。今回贈呈された入浴専用車は、小型の巡回お風呂車で、細い路地や山

道でも移動でき、待時間不要の瞬間きるようになっています。町社会福祉協議会では、在宅ねたきり老人・身体障害者の居室の近くに持ち運び、快適な入浴サービスを提供しようと申し込んだものです。現在入浴サービスは、各家庭を訪問して行っていますが、風呂の大きさや場所等で不便なところがあります。入浴専用車の導入により、今後益々高齢化が予想される本町でも、これまで以上の在宅福祉のサービスの向上が期待されます。

今年は、インフルエンザが大流行しています。町内の学校でもインフルエンザによる学級閉鎖が相次いでいるようです。皆さんも健康管理に充分注意して下さい。▼上色見・洗川の後藤ス工ヨさん(79)が昭和四十八年四月一日から現在までの「広報たかもり」を大事に保管してあると聞いて伺ってみました。現在まで三冊に分けてきれいに綴じてあります、「遠くに行っている子供達が、帰つてから見るのを楽しみにしています」と話されました。



大事に保管していますと後藤さん

成人おめでとう

いつも何かを探し続けよう

1月15日は「成人の日」——20歳を迎えた皆さんの中には、夢や希望に胸を膨らませている方も多いでしょう。

あなたの門出を祝って、バルセロナ・オリ
ンピック女子マラソン銀メダリストの有森裕
子さんから、メッセージをいただきました。



を教わりました。とても信望の厚い先生で、私も体育の先生になろう"と、いう大きな力を与えられました。大学に入り陸上を続けた最も大きな理由も、教師になりたかかったからです。しかし、大学四年生になり、いざ就職を決断す

バルセロナ・オリンピックまで数か月間は、一日平均で

私は小さいころから、とても意地つ張りで、何か一つのことをやろうと思いつと、最後まであきらめないと、性格でした。四十二・一九五キロを完走するマラソンに、そんな性格が少しは役に立っているのではないかと、ときどき思います。

私にはマラソンしかない——つまり、『これしかない』といふ。ある意味で切羽詰まつた思いがあれば、どんなつらい

皆さんに私が言えることは、
自分にあった何かを、いつも
探し続けてほしいということ
です。そして、その目標が見
つかつたなら、一途にこだわ
ってみることも、若さの素直
さだと思います。私も新たに
目標を見つけるために、走り
続けたいと思っています。
おめでとうございます。
成人を迎えた皆さん、
おめでとうございます。

目標が見つかったら一途にこだわる

そのころの私には、体育の教師になるという目標がありました。そのきっかけを与えてくれた人は、小学校三、四

**自分に
負けてなるものか**

り続けるのは、とてもつらいことです。トレーニングは、孤独と精神力の闘いでした。でも、オリンピックでメダルをとりたいという目標がきつい練習の日々の中でも、自分に負けてなるものか”という勇気を与えてくれたのです。

“これ”というものが必ずあるはずですから、私にはこれがある“これしかない”というものを、見つけることが大切だと思います。どんな人にも、“これ”というものは必ずあるはずです。そして、それを見つめらる時は、人生の中だから

新成人に贈る言葉

バルセロナ・オリンピック
女子マラソン銀メダリスト

有森
裕子

うした「自営業」の在り方からして、もともと競争原理、市場原理にはなじまない。常に「共存」の枠組があつて、それは地縁性、義理、談合といったような様々「非合理な」精神風土を生み出す側面も含んでいる。

だが、こうした枠組があつてこそ、「地域」なのであれば、必ずしも「非合理」の一言のみで否定されるべきではない。問題はそうした共存の枠組に安定しつづけてきた「地域」の閉鎖性にあるのである。なによりも、人間の心、人格、行動には合理的にははかれないと、常に「非合理」な側面があるのだということ。ただし

武田 望

それは閉鎖的で、内にこもるやうなものであつてはならないといふことを正しく子供たちに伝える必要がある。

今一つは、「地域」とは常に「定性」の領域だということである。永代家族制をもつて自然環境、社会環境のすべてに対して、人びとが常に共存のためのその保全を自覚しつけてきた、古来嘗々たる学みの領域なのだとということである。

自然も、あるいはどんな細々とした自営業の社会形態でさえも、「地域」の人びとにとてはなくしてはならないパブリックな意味をもつてゐるのだということである。

盛衰がくりかえされる競争

黛一意譯の希薄さと人ひとのその「まなざし」の無さ。こうした都市の示す在り方と、実は「地域」は全く違った原理で成り立つてゐる領域社会なのだということ。

都市の活気と「地域」の営みののどかさとは、それぞれ全く違つた原理のもつ在り方なのであり、決して等質に比較し得ることではないのだといふことを正しく子供たちに伝えるべきである。

具体的実践活動

我が子の口ぶりの端々から、高森中学校の生徒に意欲の減退が進んでいることを感じとつていた親は多い。

四年前のことである。PTA会員を交えた町おこしの会合でもしばしばそれは話題になつた。なにか視野をおもい

A会員 町おこし公演の
青年たちを中心で英語もろく
に話せないメンバー十二名で
渡米した。行く先々のパーテ
ィー、レセプションで、実に
多くの知己を得て帰ってきた。
その年の十月、モンタナ州
知事夫妻、財界人ミッション
が高森町を訪ねられ、町は町
民、子供たち総出の歓迎のる
つぼと化した。ほどなく熊本
県の町村首長のモンタナ州訪
問団の一員として渡米した高
森町長は、モンタナ州知事夫
妻の特別の歓待を受け、人的
交流を希望する旨のメッセージ
を得て帰ってきた。

九月には、モンタナ・ログハウスの建築に来町した著名なログビルダーと地元大工さんたちとの一ヶ月間にわたる楽しい技術交流もあった。

モンタナ州は、アメリカ諸州の中でも最も開発を免れている州である。ロッキー山脈を臨むイエローストーン、グレイシャーの広大な二つの国立公園を有し、温厚、実直で、明るい気風の人びとが質実な生活を営んでいる。全米でも屈指の高い教育水準を保つてゐる背景には、実は人びとのこうした実直なまなざしの暖かさがある。近年、そうした風土に魅せられて、様々なライフスタイルをもつてきているようだ。(次号)

海外地域間交流の 時代の基礎教育

(2)

ひろば



写真をご希望の方は、
広報係へご連絡下さい。

卷之三

きつて拡大させ、地域の人々と子供の意欲を引き出すような方策はないものか。

平成三年八月には、モンタナ州からの外国人中学校教師

(談)

1日当たりおよそ5人が火災の犠牲になっている

冬から春先にかけて空気が非常に乾燥し、強い風が吹く日が多いものです。さらに、暖房器具など火を使うことも多いため、1年のうちで最も火災が多い時期です。

日ごろから忘れがちな火の恐ろしさを改め

て思い起こし、火災を出さないためには何をすればよいのかを、「春の全国火災予防運動」を迎えて、みんなで考えてみましょう。今年度の全国統一防火標語は、「点検を重ねて築く火災ゼロ」です。

火災での死亡原因で一番多いのはやけど、次いで一酸化炭素中毒や煙に巻かれての窒息です。死に至る経過では、逃げ遅れが多いのが特徴です。発見が遅れ、気づいたときには火や煙が回り、すでに逃げ道がなかつたと思われることが多いくなっています。

避難場所や避難経路を家族で話し合おう

火災の原因では、こんろによる火災が六千五百六件、なかでも普及率の高いガスこんろが最も多いです。次いで、たばこ、放火、たき火の順となっています。寒い時期は、暖をとるために火気の使用が増えます。

出火の原因では、こんろによる火災が六千五百六件、なかでも普及率の高いガスこんろが最も多いです。次いで、たばこ、放火、たき火の順となっています。寒い時期は、暖をとるために火気の使用が増えます。

深夜から早朝にかけての火災が多い

器具や火の取り扱いには、十分注意しましょう。

火災発生の時間帯で多いのは、深夜から早朝にかけてです。特に多いのが午前一時台の火災で、平成三年中には百一人が亡くなっています。寝入りばなや熟睡している時間帯に当たるため、亡くなる人が多いといわれています。次いで多いのが、午後二時台と午後十一時台です。できるなら、家庭の中にも簡易火災報知器を取り付け、寝ている間の出火にも対応できるよう、万全の対策をとりたいものです。



合うことも大切です。

各地の消防署では、「春の全国火災予防運動」の期間中、消火



訓練をはじめとして多くの行事を実施します。こうした行事には家族や地域で積極的に参加し、火災通報の正しいかけ方や初期消火のやり方、さらに正しい消火器の取り扱い方などを教わりましょう。火災が起きたときでも慌てず、スマートに火を消止められるのは、一人ひとりの地道な努力なのです。

最大の被害者は六十五歳以上のお年寄り

平成三年の一年間に、全国で五万四千八百七十九件の火災が発生し、千八百十七人が亡くなりました。一日当たりおよそ五人が、火災の犠牲になっています。特に、冬からになります。春先にかけての火災で亡くなる人が多いのが特徴です。平成三年中をみても、一ヶ月間で、火災による総

死者数の五六%に当たる千十八人が、火災による損害も千六百十四億円あります。一日当たりおよそ五千九百七十五万円で、火災一件当たりに換算すると、二百九十四万円の損失額となります。

亡くなる人が最も多い火災は住宅火災で、建物の火災の死者のうち、九〇%が住宅火災の死者なのです。国内で起きた全火災の約三割は一般家庭で起きています。こうした火災の最大の被害者が、六十五歳以上のお年寄りです。春先の火災は、空気が乾燥していたり強い風が吹いていたりして、火の回りが早いため、逃げ遅れることが少なくないからです。まして乳幼児やお年寄りは、火を見て怖がったりして、悲惨な結果になることがあります。

火災は、慣れと油断から発生するといいます。一瞬にすべてを焼き尽くし、灰にしてしまう火災——怖い災害と分かっていても、それを防ぐ気持ちが緩みがちになってしまいます。火災からわが家を守るために、「これだけ注意を怠っていればもう大丈夫」といふものではありません。毎日の心がけと行動を継続させていくことが、何よりも大切です。

